

## 「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

## ＜本年度の学力向上基本方針＞

未来を拓き、心豊かにたくましく生きる力を育む

- ◇たくましく生きる力を育む＝グリット やり抜く力で「真の学力」を育成
- ◇心豊かに生きる力を育む ＝グロウス 一人一人の成長を支え、生涯学び続ける力を育成
- ◇未来を拓く ＝グローバル 国際社会で活躍できる人材を育成

## ＜本年度の学力向上策＞

- 大宮北中学校との小・中一貫教育を推進すると同時に、本年度から3年間、さいたま市教育委員会の研究委嘱を受け、研究領域「社会に開かれた教育課程」、研究主題「よさを伸ばし、意欲をもっていきいきと取り組む子どもの育成 ～コミュニティ・スクールを見据えた、地域・家庭との連携・協働／カリキュラムマネジメントの研究～」の研究に取り組む。
- 社会に開かれた教育課程の推進にあたっては、交通安全教室・インターネット安全教室等において、学校や地域の実態に則した指導が行えるよう打ち合わせを綿密に行う等、学力向上の手立てを探っていく。
- 小・中一貫教育として、国語力の向上を視野に入れ、大宮北中学校と連携し自分の考えを伝えるスキルの向上を図っていく。また、GS・体育・理科においては中学校の教員が積極的に授業に参加し、専門性を生かせるよう事前の打ち合わせを充実させていく。
- 27～29年度の学校課題研究で取り組んだアクティブ・ラーニングの視点からの授業改善を継続し、自分の考えを持ち、その考えを説明したり文章に書いたりする活動に取り組んでいく。
- 全国学力・学習状況調査の結果から本校の児童の課題を明らかにし、その点を重点的に振り返っていく。

## ＜本年度の振り返り＞

- 社会に開かれた教育課程の推進として、地域の専門学校やプロサッカークラブと連携して授業を行った。また、学校と保護者との間でも、学習との関わりや成果を示すことで、共通の目標をもち学校教育と家庭教育の相乗効果を高めることにつながった。
- 小・中一貫教育の一環として、中学生とともに行う地域清掃を設定した。今年度は天候不良により実施できなかったが、より連携が深まるよう活動内容やグループ設定等を計画した。
- 学力学習状況調査では、どの学年も良好な成績ではあるが「読むこと」に課題が見られる学年「話すこと・聞くこと」に課題が見られる学年等、それぞれの課題に応じたアクティブ・ラーニングの実践により、さらなる「真の学力」育成を目指したい。

